



日本共産党
市議会議員
谷藤利子

谷藤利子の市政報告

自宅 398-5948、メールアドレス: tanifuji5948@hotmail.com 05年7月 10日発行 NO30

無料法律相談

8月11日(木)
市川市役所内、日本共産党控え
室にて。予約制です 334
- 1111(内線)4591

三番瀬を100メートルも埋めて環境保全?

6月市議会
一般質問



市民と専門家による猫実川河口の生物調査が続けられている。

市川市の案に唖然

市川市は6月25日付けの広報市川に、塩浜駅前のまちづくりと護岸について、市独自の案を掲載し、7月15日まで市民の意見募集をしています。

特に護岸の形は現在の護岸から海側に30メートルほど出して固めてから、さらに大量の砂を海に入れ、現在の護岸から100メートル先までの人工干潟をつくるというものです。市川市は、海と陸との連続性のあるかつての海辺を取り戻すためとありますが、三番瀬を埋めて環境保全といえるのではないのでしょうか。

三番瀬の豊かな環境はますます明らかに

三番瀬の猫実川河口域では、3年前から専門家も入って生態系についての市民調査がおこなわれています。その結果、一般の干潟に無い生物種が100種類、

絶滅危惧種も5種類、カキの群集や穴ジャコ等が魚介類の住処となって豊かな生態系を育み、水質浄化能力の高さもますます明らかになり、テレビや新聞各紙でも報道されています。

「環境への影響調査は県の仕事」と驚いた谷井

谷藤市議は、「円卓会議で、自然再生は今ある良好な環境を損なわないと合意したはず。市川の護岸と干潟の案は三番瀬の環境への影響をどう検証し、配慮したのか。」と質しました。

これに対して市の答弁は「それは県がやること」と、市独自の案を出しながら、環境への配慮や検証の根拠を示すことができませんでした。

市の土地を自然再生の場に

谷藤市議は、「護岸は現在の護岸から陸側になるべく幅を持たせて、三番瀬という全国に知られた良好な自然環境に学び親しむ『自然との共生の場』にするべきだ。

海と陸との連続性という自然再生に名を借りた三番瀬の埋め立てはもう続けるべきではない。」と市の姿勢を正しました。

浦安市川市民病院・市民の要求にしっかりと耳を傾けて



4月24日、市民病院問題の学習と意見交換をしました。

自治体病院は不採算ではあっても市民が必要とする医療に心えていくことが使命である。市民要求をしっかりと掴んで、市川市としての位置づけを強化するべきである。」と正しました。

市川市にとってはなくてはならない病院。

市民病院は、建て替えと今後の運営のあり方、地域での位置づけも含めて、市民病院運営協議会に諮問されており、今年度内に方向性を出すことになっていきます。

市民要求にしっかりと応えるべき

谷藤市議は、「医療費の本人負担が増えて患者が減り、さらに病院への診療報酬の引き下げで民間病院は採算のとれない医療を切り捨てざるを得なくなっている。こんな時こそ、自治体病院の役割は大きい。

市民病院に望むものについて、日本共産党で行ったアンケートや懇談などには、救急医療、小児科の充実、女性専門外来の新設、医師や職員の患者対応の改善、施設改善など、たくさん要望が寄せられている。

積極的なご意見をお寄せください

谷藤市議は市民病院運営協議会委員の中の議員4人の一人として、さらに市民要求に耳を傾け、市民に親しまれる病院づくりのためにがんばります。市民の皆様のご意見をお願いします。

「九条の会市川」元氣よく出発!

7月3日、市内不二女子高校体育館で「9条の会市川」の発会式と記念講演が開かれ、380人の市民が参加しました。講演者の憲法9条を守る歴史的な意義の訴えに大きな感動を与えました。



最後に46万市民へのアピール「憲法9条を守る、この1点で手をつなぎ共に声をあげましょう」を採択しました。7月10日には、千葉県九条の会が発足するなど、県内各地で九条の会が発足しています。

石垣場・東浜地域の環境改善の行徳東後援会の申し入れに回答



行徳東後援会の現地調査と申し入れに応えて、千葉市長から回答がありました。さっそく現地にはゴミの不法

投棄禁止の大きな看板や監視カメラもつけられ、水路のゴミの回収も進められています。今後も地元住民のみならずと力を合わせ、住みよい環境づくりのために、取組みを強めましょう。

4月10日、環境保護団体の主催で、江戸川放水路の自然と生態系の調査が行われ、参加しました。

江戸川河口域は三番瀬と連続して護岸から50メートルほど先まで干潟が続き、トビハゼ、アサリなど、豊かな干潟の生物がたくさん見られ、地域にもっとこの豊かな自然を知らせようと話し合いました。

市議はこの経験を6月議会一般質問で取り上げ、駐車場や手洗い場の確保などを求めました。



夜間も含めた重機の音や振動など、周辺環境に多大な環境悪化をもたらしてきた地域です。

要望には行徳東後援会長と事務局長、谷藤市議が参加しました。また、この要望については市長から回答をもらい、改善が進められています。



要望事項

- (1) 下水道終末処理予定地内の環境改善について
 - 1、水路等へのゴミの不法投棄対策について
 - ・不法投棄禁止看板はもっと大きく、場所や数を増やして設置すること。
 - ・監視カメラが効果を果たすように、位置を変え、あることを知らせること。
 - 2、埃対策の強化について
 - ・中の道路の仮舗装をすること。
 - ・その他できることを検討する。
 - 3、騒音対策の強化について
 - ・休日・夜間の搬入や作業を禁止させること。
 - 4、その他の環境対策として
 - ・行徳ニューハイツ寄りのゴミの山周辺のねずみなどの対策をとること。
 - ・水路の治水対策を強化すること。
- (2) 江戸川河口域の豊かな自然を市民のいこいの場にするために
 - 1、アクセス方法をはっきりさせ、アクセス経路周辺の環境を改善すること。
 - 2、駐輪場や駐車場、トイレ、手洗い場なども設けること。

4月20日、日本共産党県議団と三番瀬を前面にした塩浜護岸の改修について、現地視察をしました。

現地では護岸をイメージした庁張り（完成したときのイメージをパイプで組んだもの）について千葉県から説明を受け、三番瀬の環境への影響について市民調査をしている環境団体から報告を受けました。

市議はこの問題も6月議会一般質問で取り上げました。



4月24日、南行徳の町づくりを考える会主催で、市民に親しまれる浦安市川市民病院にするための学習と懇談を行いました。

谷藤市議は病院の現状と日本共産党支部でとりくんだ市民アンケートに寄せられた声や議会での取り組みについて報告。日本医療労働組合連合の岡野さんからは、医療制度改革と全国の自治体病院で起きている問題について報告がありました。

参加者からは患者対応や待ち時間、土曜診療などの改善についての意見も出され、市民病院をよくするために私達ができることをこれから取り組んでいこうと話し合いました。

市議はこの問題も6月市川市議会で取り上げました。



5月7日、市川三番瀬を守る会のみなさんと、三番瀬の塩浜護岸に大量に投棄されている有害物を清掃するための下見調査を行いました。

調査の結果、猫実川河口近くの護岸近辺に車のバッテリーや携帯電話ビデオデッキなどが約100個投棄されており、7月23日にクリーンアップ作戦を実施することにしました。

ぜひ、ご参加ください。



5月13日、行徳後援会主催で行徳駅前公園研修室にて議会報告会を行いました。

谷藤利子市議からは3月議会一般質問した行徳のまちづくり（歩道の段差解消の見通し、コミュニティバス運行実現と今後の課題、通称行徳富士地域の環境改善について）など報告があり、参加者と意見交換をしました。



憲法記念日の5月3日、行徳駅前広場で憲法9条を守ろうと宣伝署名行動を行いました。

7日には、被爆60周年の今年は行徳地域独自に、国民平和行進を行うために、第一回行徳平和行進実行委員会を行い、7月24日に行うことを決めました。



5月3日、日本共産党行徳東後援会のみなさんと、本行徳石垣場・東浜地域の環境悪化対策で現地調査をし、16日、要望書を添えて、市への申し入れを行いました。

この地域は30年前に下水道終末処理場予定地として都市計画決定されたまま、資材置き場や残土・産業廃棄物の処理施設などに利用され、大量のゴミの不法投棄、大型車両搬入時の埃

5月22日(日)日本共産党行徳後援会主催で、京成バラ園に施設めぐりをしました。

バラは5分咲きでしたが、とても素敵で皆満足し、日本庭園の周りでお弁当を広げ、9条の会市川や平和行進などに参加しようと話し合いました。

核兵器廃絶 国民平和行進行徳コースにご参加ください

7月24日(日)朝9時半 南行徳駅 11時行徳駅で署名行動 12時15分妙典駅で報告集会